

# 市議会議員 木戸あきらの議員報告

**経歴** 中央大学法学部卒業、伊藤萬(イトマン)株式会社勤務後、現在は、社会福祉法人理事長。

**議員歴** 高石市議会議員(3期目:平成27年4月再選)

## 今年一年ありがとうございました!

わたしの議員活動ダイジェスト版を市民の皆様へ報告します!

## 木戸 あきらの市民交流会

### 第1回市民講座「石油コンビナートの防災は大丈夫?」

7月23日、湾岸防災、高圧ガス対策の権威である3人の大阪大学教授と高石市民との交流が実現しました。



大阪大学 名誉教授  
加藤 直三

東京大学工学系研究科博士課程修了、工学博士。  
大阪大学工学研究科教授を経て定年退職。  
現在NPO法人産業防災研究所 理事長及び  
OECD / UN Joint Environmental Unitの  
「自然災害による産業災害」プロジェクトの日本側委員



大阪大学 大学院  
教授  
青木 伸一

高石市東羽衣に在任。大阪大学大学院工学研究科、  
豊橋技術科学大学教授を経て現職。  
専攻は、海岸工学、沿岸防災、沿岸環境。  
国土交通省海岸委員会委員、  
土木学会海岸工学委員長、  
豊橋技術科学大学名誉教授を兼職。



大阪大学  
特任教授  
石丸 裕

北海道大学工学部卒、住友化学研究所入所、  
住友ケミカルエンジニアリング株式会社社長を経て  
現職。



# 「地震予測最大規模の東南海大地震が来たら、 鳳に向かってひたすら逃げるしかない!」

(※講演後の私の発言です。)

市民交流会  
当日のようす

そのためには、東西に走る道路整備を優先すべきで、「新村北線」(旧国道26号線保健センター前～羽衣保育所前～北幼稚園前～業務スーパー前～26号線～アリオとともに、羽衣駅前開発に合わせて…

p.2 に続く→

## 参加者のみなさんのアンケート

本日の講座は大変有意義でした。ありがとうございます。家族内でも避難場所についてはカンカンガクガクと話し合っています。私自身は泉北方面がいいのでは？といっても、毎日思うわけではありませんが、生活する方が忙しくて本日の講座で改めて考えさせられました。

津波火災について初めて聞きました。もう少し詳しく教えて欲しいと思います。防災訓練に参加しているが一般の関心が低すぎる（全然集まらない）。津波タワーは役に立たないと言われるが、とりあえずタワーを近くに作ってそこへ逃げなさいという段取りです。

大変有意義なお話で、わかりやすく、とても参考になりました。ありがとうございます。

油火災についての情報を公開して欲しい。油火災発生時の避難方法（経路、場所等の明示）。当バンセ（交流会の開催場所）も1次避難所ですが、危険ですか？足の不自由な老人はここに逃げるといいますが、危険ですか？

大変有意義な合でございました。津波が来たらカモン高石へ思っていました。聞くとやはり鳳の防災公園へと考えてしまいます。これからまた、このようなお話を聞かせていただければ有難いと思います。今日は本当にありがとうございました。

最近、防災について数年来の資料をもとに我が家の防災対策の作成がほぼ完了しました。疑問点もかなりあるので、市役所に相談に行く予定です。本日はありがとうございました。

マンションの10階に住んでいるので比較的津波に対しては大丈夫と思っていましたが、油による津波火災の怖さを意識できました。ありがとうございました。

最大の津波が起きる時の波源と震源との関係はどうなるのですか？避難時に道を塞ぐような大地震と大津波の関係で避難はどうなるのか？教えてください（道路が通れなくなる？）。

津波火災のこと、初めて知りました。地震の火災はニュースで見ただけでしたが、大変ショックです。

油は怖い！情報公開を！

現在、小2、1歳の孫がいます。両親とも大阪市内、岸和田市内への勤務のため、孫の避難をどうしようか悩んでいます。保育園（こども園）の避難は高所（隣の病院の6階）と聞いています。油火災を想定してない状態ではますます心配になってきました。今日の話は全域に知らせていただきたいと思いました。

本日は貴重な機会をお作りいただき、ありがとうございました。火災の恐ろしさについてよくわかりました。油流出のメカニズム（タンク流出、配管折損）についても研究が喫要だと思います。



## 「羽衣駅前につながる道路の （旧国道26号線～羽衣駅、東羽衣駅～鳳） 拡張整備を優先してほしい！」 と9月議会で訴えました。

さて、その9月議会についてですが、  
重大議案が質疑されました。私の態度表明を報告します。

- 市長提出議案 19件のうち  
**17件に賛成し2件に反対しました。**
- 議員提出議案 1件のうち  
**1件に賛成しました。**



**反対2件と賛成1件の計3議案に絞って以下報告します。**

これは、高石市立幼稚園再編等検討委員会を解散したいという議案です。

## 私は反対しました。(賛成 10 名、反対 5 名)

保護者の皆様が、廃園理由がひどいと約 4,000 人の賛同署名をもって廃園反対を訴えられました。



廃園が決まった北幼稚園

8月緊急招集された臨時議会で、高石市立幼稚園3園のうち2園を廃止し、市立幼稚園は加茂幼稚園1園に集約することが決まりました。廃園理由は、市立幼稚園3園では、「複数学級」が構成できないからということでした。

その後、9月定例議会で、その廃園劇で大きな役割を演じた、高石市立幼稚園再編等検討委員会を解散したいというのがこの議案です。

そもそも「複数学級」とは何でしょうか？・・・同年次2学級以上でないといけないということらしいですが、それが2園も廃園する理由になるのでしょうか？幼稚園教育の憲法のような「幼稚園教育要領」（小、中学生に向けた「学習指導要領」の幼稚園版）には「複数学級」という言葉さえ出てきませんから、「複数学級を維持せよ」という理由は高石市教育委員会のオリジナルな理由です。「集団生活を学ばせるには単学級より複数学級が望ましい」とか、「複数学級には、競争意識や対抗意識を子どもたちに喚起し、大きな教育効果が期待できる側面がある」とか理由が述べられていました。しかし、高石市以外では、単学級の方が複数学級よりすぐれている例はたくさんあります。

文科省による「全国学力テスト」で秋田県は2015年まで8年連続1位なっていますが、その秋田県の人口2630名の東成瀬村に現在全国から教育関係者が殺到しています。

この東成瀬村の小中学生は、秋田県の中でもトップクラスの学力を誇っていて、自主的に学習する習慣がついています。その“自学”の教育現場を全国から視察に来ているのです。この村に1校だけある東成瀬小学校の児童数は全学年で100名。従い、各学年では1クラスしか構成できていませんが、全て単学級だからこそ、きめ細かい子どもとのかかわりができ、子どもの能力を開花させています。これは事実です。一方、高石市教育委員会が言う「複数学級が・・・望ましい」とか「複数学級が・・・期待できる側面がある」とか、これらには科学的根拠は示されていません。

高石市教育委員会は平成30年から2園一度に廃園しようと急ぎましたが、議会が1年間廃園時期を平成31年に延ばしました。廃園予定の2つの幼稚園園舎は3年前に多額の工事代金を投入して耐震工事をしたばかりですし、今まで廃園してきた幼稚園跡は放置されたままで、施設管理の面からもチェックは必要です。従いまして、廃園に大きな役割を果たした高石市立幼稚園再編等検討委員会についての解散には、解散時期が早すぎると反対しました。しかし、賛成多数で解散は承認されました。

# 消防に続き、水防も堺との組合を解散！

## これで、高石市民をスーパー台風から守れるのか？

9月議会

議案 19号：泉州水防事務組合の解散及び財産処分に関する協議について



### 私は反対しました。(賛成 11 名、反対 4 名)

本案は、堺市、高石市、泉大津市、および忠岡町のいわゆる3市1町で構成される一部事務組合、すなわち「泉州水防事務組合」を解散する議案です。組合は3市1町がそれぞれ分担金を拠出して湾岸や河川の水害に広域行政で対応しようと結成されたものです。60年の歴史がありましたが、本議案が賛成多数で可決されました。他の市町も同じように可決しましたので、今後は、高石市が単独で水防業務を遂行することになります。

### これは水防体制の縮小化です。

### いったい、なぜこんな事態になってしまったのでしょうか？

### それには水防事務組合の議事録を見る必要があります。

私は、平成27年に再当選して高石市議会議員になりました。そして、水防事務組合議会に派遣されましたが、すでに解散の機運は出来上がっていました。

それまでの水防組合議会の議事録によりますと、高石市から当該事務組合に派遣されていた高石市選出議員が平成26年11月7日の組合議会で「泉州水防組合につきましては、平成25年9月10日に締結しておられます泉州地域災害時相互協定で代替えが可能であります」と解散を積極的に促していました。

しかし、協定と組織と比較して代替え可能というのはナンセンスです。「協定」で「組織」の代替えはできません。協定とは合意書です。TPP協定のように解約も可能です。一方、泉州水防事務組合は、3市1町の共同自治体です。管理者は堺市長、議員は各市町からの派遣議員。行政機能、議会機能は完備していますから、例え高石市の水害であっても堺市長が責任をもって対応し、高石市から派遣された我々議員が、高石市での災害の実情を伝えることもできます。

この議事録によると他の議員も解散を主張していました。いわく、組合歳出の多くが議員や職員の人件費に使われていて機能的でないとか、また実際に水害に遭遇したことがない、など組合存続の意味がないと訴えていました。管理者である堺市長も「この組合は歴史的役割を終えた。」とそれに呼応したかのような発言をしていました。津波対策を考えると3市1町では狭い範囲だとも主張しています。しかし、もともとこの組合は高潮対策のために設立したものです。津波にばかり焦点を合わせるのは危険です。昨今多発のスーパー台風による高潮対策はどうなのでしょう？ 大阪府も、スーパー室戸台風が来る場合を想定して、大阪湾の干潮時を6m～6.6mを超える高潮の対策に入っています。

日程第四の議事を継続いたします。

これより討論に入ります。通告がありますので発言を許します。19番 〇議員、

〇19番 〇議員 19番 〇議員 にご意見を申し上げます。先ほどの質疑の中でも色々申し上げましたとおり、**泉州水防事務組合につきましては、平成25年9月10日に締結しておられます、泉州地域災害時相互協定で代替え可能であります。** 管理者、副管理者、事務担当の方から事務組合のあり方については事務が進んでいるといわれながら今日に至るまで遅くして進まず、失礼ながら決められない政治の悪しき例となっている感があります。假に、**協定のなかから解散に向けて議の進め方なのであれば、**せめてこの泉州水防事務組合併合廃止というものがございませうけれども、この廃案に含まれておりませうので、それから条例、その改正、そしてこの廃案の最後に関係法として採まれているんですけど、これ命令の撤廃などは現在議案になってまして平成25年度の決算の中で計上上げられるべきであったにもかかわらず、それも行われておりません。先ほどの質疑でも申し上げましたが、他の水防組合、大和川右岸ですが、淀川の右岸左岸、ということでも例を挙げさせていただいたんですけど、それぞれの構想書において平成24年度一回の定例会を駆けく、

平成26年 第3回 泉州水防事務組合議会 議事録  
(堺市ホームページより)



## 私には泉州水防事務組合の歴史的役割は終えたとは思えないし、 今からが、高石市に必要な組織だと確信します！

堺市は組合に対する財政的負担が高石市の約1.2倍ですから、この機会を逃さず解散の機運を作ったのでしょうか、高石市民にとってはこの組合は頼れる組織です。実際水害が続いて、対策強化のために仮に現在の10倍の拠出をしようとなったら、高石市の負担は1,734万円ですが、堺市は2億円の拠出をすることになります。高石市の海岸線の目の前には石油コンビナートがありますから、堺市とともに水防体制を維持する意味はここにあります。この点が泉大津市や、忠岡町とは異なります。

	(単位:円)
堺市	20,273,000
高石市	1,734,000
泉大津市	2,198,000
忠岡町	1,525,000

平成27年度決算書から

### 例えば、王子川の水門付近の高石市民のことを考えてみてください。



王子川周辺

ここは海拔2m強ほどの地域です。潮位が上がれば即座に臨戦体制で水防に臨まなければなりません。王子川の隣は泉大津市です。泉州水防事務組合であれば、3市1町の水防は同じ責任領域ですから、基本助けに來なければなりません。しかし、この組合を解散し協定だけになれば、仮に泉大津市からの応援がなくても文句は言えません。先述した通り、協定は合意書で責任規定はないからです。

大きな津波が来たらその対策は「逃げる」しかありません。水門が津波の威力で壊れて危険物になることを防ぐために水門はあけます。ひたすら東に向かって逃げてください。

しかし、スーパー台風による高潮に対しては、その威力は津波ほど強くありませんから、水門を閉じます。その対策は「逃げる」ではなく、「防ぐ」です。石油が上がってきたらどうしますか？王子川および芦田川の水門は水防組織で「防ぐ」のですから、堺市が背景にある大きな組織で対応するほうがいいことは自明の理です。

今年8月の台風10号では岩手県では認知症高齢者グループホームで多数の入居者が豪雨による河川水害で亡くなっています。国もその対策に懸命です。こんな時に、みすみす高石市民にとって有利な泉州水防事務組合を解散する必要があるといいどこにあるのでしょうか？

私には組合解散が高石市民にとりマイナスにしか考えられないので以上のように反対討論しました。残念ながら賛成多数で可決されました。

ここに至った以上、  
公設消防を作っていたきたい！

と、最後に阪口市長に訴えました。

(※後日、泉州水防事務組合議会で平成28年12月末日解散が告示されました。)

# 全国には1,742市町村があります。 その中で水害にあったことのある自治体は1,687市町村(国交省データ) 日本は水害の国です、“常在戦場”意識で備えましょう!

高石市民の皆さん、高石市各地域で催される防災訓練には参加しましょう!たとえこの誘導はコースが間違っていると思っても、自分の目で街を確認できる意味はあります。

一方、高石市行政に訴えます。臨海部企業と協力して石油コンビナートの防災情報を市民に知らせていただきたい。

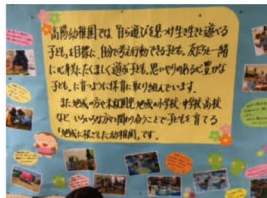
ドイツでは企業にばかり責任を押し付けません。市民との情報共有で繋がりが密になっています。制度上、臨海部が大阪府の特別防災地域であっても、高石市行政がリーダーシップをとって、市民との橋渡しをしてください。

## 9月議会 議案 20号：高石市立幼稚園条例の一部を改正する条例制定について 3歳児保育を3園で実施してくださいという議案(議員提出議案)

**私は賛成しました。(賛成5名、反対10名)**

高石市教育委員会は、平成30年4月から高石市内に3園あった公立幼稚園を1園に集約するという議案を提出しましたが、その際、3歳児保育も実施するということでした。

公立幼稚園の3歳児保育は今まで実施されていませんが、様々な団体や議員から、その必要性を指摘され、高石市教育委員会は20年もの長きにわたって検討してきました。その結果3歳児保育の導入を決めたのですが、1園になった後なら3歳児保育を採用するということでした。1園なら実施するが3園なら実施しない…まるでリングを100円なら買うが300円なら買わないと言っているようで、20年もかけての検討した結果としては貧弱すぎます。とにかく、高石市立幼稚園が3園存在する以上、教育委員会は3園とも3歳児保育を実行するのが、組織の方針というものではないでしょうか?



### 【3歳児保育】

3園→1園



3園→3園



なぜ?

残念ながら教育委員会から以上の趣旨の議案が提出されなかったため、議員の側から本議案が提案されました。私はこの3園3歳児保育導入に賛同しました。結果は賛成少数で否決されました。



## 編集後記「大切なものは目に見えない!」(星の王子さま)

高石市は市制50周年事業でアプラ高石は連日盛況です。また12月には、3階に遊具施設を設置すると同時に、お子様を預かる保育事業がオープンします。6月議会で「預かり保育を加えてください!」という議員提出の修正案に賛成した私としては素直にうれしく思います。しかし、一方で医療費助成制度の低位持続(高石市は通院が小学校卒業まで、入院は中学校卒業までと、入通院ともに高校卒業まで実施している先進都市と比較すると後れをとっています。)は気になります。

この、目に見える施策と目に見えない施策への取り組みの差が、今の高石市役所の特徴のような気がします。

「住みよさランキング指標」で定評のある東洋経済「都市データパック」では、全国813市区のうち住みよさの指標総合で高石市は142位です。項目別では“利便性”が50位と好位置ですが、他の指標では、快適性531位、住居性612位等で、利便性で全体評価を上げている状況です。

市民にとって、住みよい町とはどんなまちでしょうか？ 究極は、市民が自分の住む地の市役所を誇れる町だと思います。そのためには、市役所は市民に対して懸命な職員の姿を披露するとともに、社会の変化に敏感に反応する施策を打ち出す器量も必要だと思います。

・・・介護保険外の要介護者への補助や、子供食堂の支援、夫婦二人の高齢者世帯孤立対策、いのちの電話相談員の拡充配備、災害別対象者別避難誘導、不要となった施設を放置しない運営・・・など、目には見えない施策かもしれませんが、市民が気配りを感じられるこれらの施策が充実すれば市役所は市民が誇る存在になるでしょう。

派手なパフォーマンスも町おこしには必要で否定しませんが、職員削減策の中、職員の皆さんがイベントの準備に時間を割いて高石独自施策を練る時間がないのではと懸念します。

「大切なものは目に見えない!」

・・・あ、用意してくれていたんだ!と市民が感じる施策を評価する市役所になっていただきたいと思います。



# 12月定例議会速報

【会期：平成28年11月29日～同年12月13日（予定）】

## 議案2号：高石市水防条例制定について

本年12月末で泉州水防事務組合が解散することを受けて、平成29年1月1日から新たな水防体制に入ることになりました。

泉州水防事務組合を構成していた高石市以外の堺市、泉大津市、忠岡町には自前の消防があります。法律によれば、自前の消防があれば、水防事務を内包できますから、堺市や泉大津市は水防団を設置しないようです。しかし、高石市には自前の消防がなく、堺市に委託していますから、水防団を作ることになりました。それが本議案です。

この条例案によると、水防団は高石市職員で構成します。この水防団を管理する水防管理者（指揮命令権者）は高石市長になるのですが本条例案には示されていませんでした。急ぎ作ったせいか、本条例案からは、堺市から解散を促された高石市行政の苦渋の作業がしのばれましたが、私は「高石市民のためには例え小さくても自前消防を作っていたきたい！」と再度訴えたくて、本条例案には条例様式として不備があるので反対しました。

泉州水防事務組合が解散させられ、今般の条例案に至った経緯は以上のようなことです。市民の皆さんもご一考ください！

その他の議案については以下の議会報告会で市民の皆様にご報告いたします。

### クリスマス報告会

12月24日 土 10時～12時

高石市立東羽衣公民館（東羽衣3-15-30）

### 年始報告会

2017年1月14日 土 15時30分～17時

パンセ羽衣公民館（羽衣1丁目11-22）

上記の要領で行います。ご来場お待ちしております。



高石市議会議員

木戸あきら

最後まで、お読みいただきありがとうございました。改めて私の公約を掲載致します。

## 高石市の社会福祉の拡充を目指す

1. 子育て支援、介護支援を充実させ、働く世代の負担を軽減する。
2. 老人介護施設を増設し、地域交流（介護予防）拠点とする。
3. 認知症対策として認知症サポーター制度の普及率10%を目指す。

連絡先 〒592-0003 高石市東羽衣1-5-25 木戸あきら事務所 072-261-7801 (TEL/FAX)

公式ホームページ <http://kidoakira.com/>

木戸あきら

検索

高石市民の皆さん、良いお年をお迎えくださいませ！